

非小細胞肺癌と診断された患者さんとご家族の方に

ともに歩む 治療のサポートノート

監修：神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科医長
肺癌包括診療センター チーフドクター

池田 慧 先生

はじめに

「非小細胞肺癌」に対する治療では、患者さんご家族が情報を共有し、主治医とよく相談したうえで、納得のいく治療法を選ぶことが大切です。しかし、診療の過程で、何を決め、何を確認し、何を伝えたらよいのか、迷うことも多いのではないのでしょうか。

この治療のサポートノートは、治療を始めるまでに決めたこと、確認したこと、話し合ったことを書き留め伝えることで、状態を整理し、患者さんご家族、医療者との対話を促すためのものです。

わかる範囲でかまいませんので、当てはまるものにチェックを入れたり記入しておきましょう。わからないことがあれば、遠慮せず、主治医や看護師などの医療者に尋ねてください。難しいときは、代わりに記入してもらいましょう。

あなたにとって納得できる最良の治療法にたどりつくために、この治療のサポートノートが少しでもお役にたてば幸いです。

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 医長
肺癌包括診療センター チーフドクター

池田 慧 先生

1 確認・記録ページ

- 医療者とのよりよいコミュニケーションのために、…………… 4
まずあなたのプロフィールと暮らしの様子を伝えましょう
- これまでの検査でわかったことを書き留めておきましょう …… 6
- あなたの状態を伝えましょう …… 8
- 予定している治療の目的・内容を確認しましょう …… 10

2 診療フローチャート(決めたこと・確認したこと)

- 治療決定までの経過を、書き留めておきましょう …… 12
- 治療方針が決まったら、内容を記入しておきましょう …… 16

3 治療の準備・サポート情報

- 治療が始まる前の過ごし方 …… 18
- 治療が始まるまでに準備しておきたいこと …… 18
- 役立つ情報が得られるウェブサイトのご案内 …… 19

医療者とのよりよいコミュニケーションのために、まずあなた

フリガナ

●氏 名

●生年月日 年 月 日 (歳)

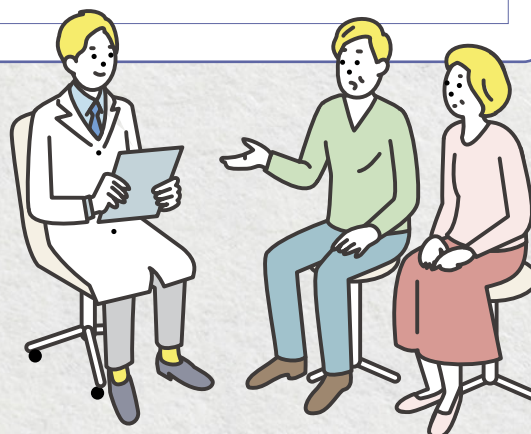
●身 長 cm ●体 重 kg

●家族構成 (人)

同居しているご家族の続柄と年齢

●治療のことを相談したり問題を解決するときに、一番頼りにしている人

あなたとの関係(間柄)



のプロフィールと暮らしの様子を伝えましょう

● 自宅からの通院時間 約 分

● 主な通院手段 ☐ 電車・バス ☐ 自家用車 ☐ 徒歩 ☐ 自転車
☐ タクシー ☐ その他()

● 職 業 ☐ 自営業・家族従事者 ☐ 正規の職員・従業員
☐ 会社等の役員 ☐ 派遣社員 ☐ パート・アルバイト
☐ 専業主婦・主夫 ☐ 学生 ☐ 無職 ☐ その他

仕事の内容

● 生活の中で大切にしていること 当てはまるものがあれば、すべてお選びください

☐ 仕事を続けること ☐ 自宅で静かに過ごすこと
☐ 家族とのだんらん ☐ 体を動かし活動的に過ごすこと
☐ 旅行や趣味の時間を持つこと ☐ 人との交流・ボランティア活動
☐ その他()

● 治療を始めるにあたり必要としていること 当てはまるものがあれば、すべてお選びください

☐ 生活面での援助(介護や医療費のことなど)
☐ 病気や治療に関する正確な情報
☐ 勤め先や関係者への病状説明(いつ、どのように伝えたらよいか)
☐ 同じ症状の方との情報交換 ☐ 心理面でのサポート
☐ その他()

これまでの検査でわかったことを書き留めておきましょう

医療者に確認したうえで、当てはまるものに $\checkmark$ を入れ、空欄を記入してください。
わからない場合は、主治医や看護師などの医療者に記入してもらいましょう。

● がんの組織型

☐ 小細胞がん ☐ 腺がん ☐ 扁平上皮がん ☐ 大細胞がん ☐ その他

● がんの臨床病期(ステージ)

☐ IA1 ☐ IA2 ☐ IA3 ☐ IB ☐ IIA ☐ IIB
☐ IIIA ☐ IIIB ☐ IIIC ☐ IVA ☐ IVB

● がん細胞の性質

当てはまるものがあれば、すべてお選びください

がん細胞の遺伝子変異の種類

☐ イージーエフアール EGFR 遺伝子変異 ☐ アルク ALK 融合遺伝子 ☐ ロスワン ROS1 融合遺伝子
☐ ビーラフ BRAF 遺伝子変異 ☐ メット MET 遺伝子変異 ☐ レット RET 融合遺伝子
☐ エストラック NTRK 融合遺伝子陽性 ☐ ケーラス KRAS 遺伝子変異 ☐ その他 ()

ピーディーエルワン PD-L1 タンパクの発現

☐ 1%未満 ☐ 1~49% ☐ 50%以上

医療者に伝えたいこと、相談したいこと



患者さんから

(例:できるだけ早くがんを取り除きたいと思っているが、手術は可能か など)

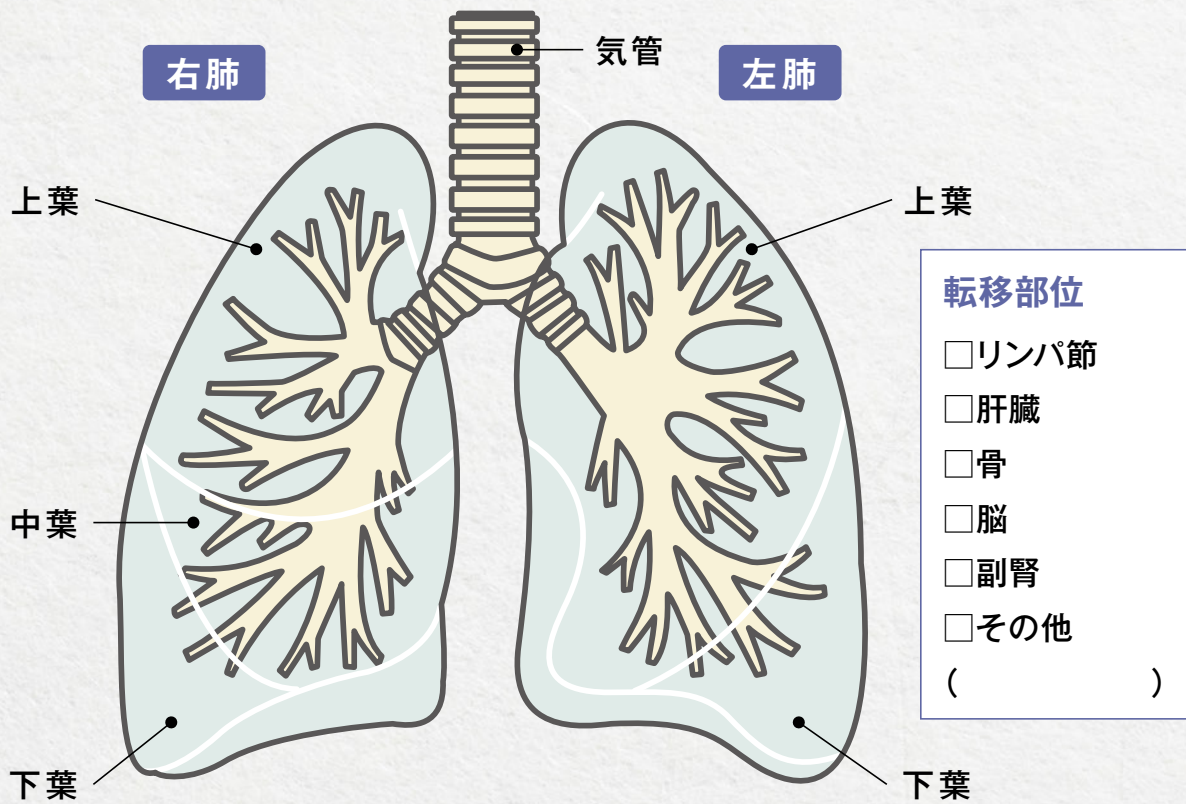
医療者に伝えたいこと、相談したいこと



ご家族から

(例:治療を始める前に生活面で注意することはあれば教えてほしい など)

● がんがある部位



おぼえがき・メモ



医師から受けた説明を、ここにメモしておきましょう。
(わからない言葉があれば、その意味を尋ねて書き留めておくといよいでしょう)

医療者からコメント

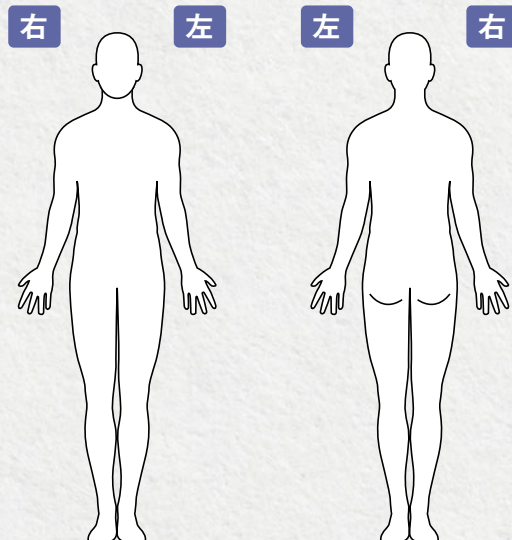


あなたの状態を伝えましょう

- **からだの状態** (痛みがある場合は、場所と痛みの状態を記入してください)

気になる症状

基礎疾患(持病)



- **日常生活の状態(PS※)** (当てはまるものに☑をつけてください)

- ☐ 0 まったく問題なく活動できる。発症前と同じ日常生活が制限なく行える。
- ☐ 1 肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる(例: 軽い家事、事務作業)。
- ☐ 2 歩行可能で、自分の身の回りのことはすべて可能だが、作業はできない。日中の50%以上はベッドの外で過ごす。
- ☐ 3 限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の50%以上をベッドか椅子で過ごす。
- ☐ 4 まったく動けない。自分の身の回りのことはまったくできない。完全にベッドか椅子で過ごす。

※PS: パフォーマンスステータス

日本肺癌学会(編): 患者さんのための肺がんガイドブック2021年版, p73, 金原出版, 2021より

医療者に伝えたいこと、相談したいこと



患者さんから

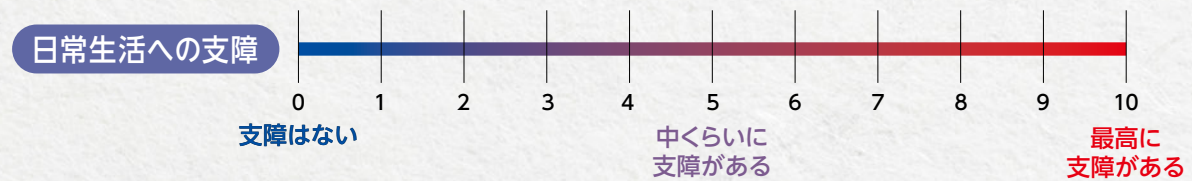
(例: 若いころ気胸の手術を受けたことがある、少し息苦しい感じがする など)

● 気持ちのつらさと日常生活への支障の程度

(この1週間の気持ちのつらさを平均して、数字に○をつけてください)



(その気持ちのつらさのために、どの程度日常生活に支障がありましたか?)



国立がん研究センター精神腫瘍学グループ「つらさと支障の寒暖計」を参考に作成

● 食事の状態 (この1週間の状態を平均して当てはまるものに☑をつけてください)

☐ よく とれている	☐ まあまあ とれている	☐ あまり とれていない	☐ ほとんど とれていない

● 睡眠の状態 (この1週間の状態を平均して当てはまるものに☑をつけてください)

☐ よく 眠れる	☐ まあまあ 眠れる	☐ あまり 眠れない	☐ ほとんど 眠れない

● 身近な相談相手 (家族を含め病気や暮らしについて相談できる身近な相手はいますか?)

☐ いる(間柄) ☐ いない ☐ わからない

医療者に伝えたいこと、相談したいこと



ご家族から

(例: 食欲がなくなり体重も減っているので心配している など)

予定している治療の目的・内容を確認しましょう

医療者に確認したうえで、当てはまるものに✓を入れ、内容を書いておきましょう。
わからない場合は、主治医や看護師などの医療者に記入してもらいましょう。

● 治療の目的

- ☐ がんを体内から取り除いて完全に治すことを目的とした治療です。
- ☐ がんの進行を抑えてよい状態を保つことを目的とした治療です。
- ☐ つらい症状を和らげて苦痛を減らすことを優先した治療です。

● 予定している治療法

☐ 薬物療法

初回の治療で使う予定の薬の種類

- | | |
|--|--------------------------------|
| ☐ 細胞障害性抗がん薬 | ☐ 分子標的薬 |
| ☐ 免疫チェックポイント阻害薬 | ☐ 未定 |
| ☐ その他() | |

- ☐ 放射線療法(放射線腫瘍医による診察をもとに治療計画を作成します)
照射部位()

- ☐ 手術
手術部位()

- ☐ 緩和ケアを優先
治療内容()

医療者からコメント



心配なこと・不安なこと・ためらっていることがあれば、
チェック☑をつけてその内容を医療者に伝えましょう。

医療者に伝えたいこと、相談したいこと



患者さんから

- ☐ 肺がんに伴う症状（例：血が混じった痰が出る など）

- ☐ 治療の効果と予後（例：予定している治療の有効性、メリットとデメリット など）

- ☐ 治療に伴う副作用／避けたい副作用はあるか（例：脱毛、手足のしびれ など）

- ☐ 仕事と日常生活（例：今の仕事を続けることはできるか、通院治療は可能か など）

- ☐ 医療費に関すること（例：1ヵ月あたりの医療費は概算でどのくらいか など）

医療者に伝えたいこと、相談したいこと



ご家族から

- ☐ 生活に関すること（例：どんなことを心がけたらよいか など）

- ☐ 治療に関すること（例：家族が知っておくべきことはあるか など）

- ☐ 仕事や日常生活に関すること（例：どこに相談すればよいか など）

- ☐ お金や医療費に関すること（例：利用できる助成制度はあるか など）

治療決定までの経過を、書き留めておきましょう

主治医と患者さんが決めたこと、確認したことを、診療や検査の流れにそって記入するページです。右上の記入例を参考に、確認したことを書き留めておきましょう。

がんと診断

年 月 日

担当医師



診察・検査

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

医療者からコメント



医療者に伝えたいこと、相談したいこと



患者さんから

(例: 治療法はいつまでに決めないといけないか、仕事はいつから休むとよいか など)

がんと診断

2023 年 7 月 4 日

担当医師 ○○○○先生

診察・検査

主治医と決めたこと、確認したことを書いておきましょう

次に予定していることを書いておきましょう

受診日 7 月 10 日

●決めたこと・確認したこと

画像検査を予約
・CT・MRI・PET
・骨シンチ

●次に行うこと

検査結果をもとに
病状の説明を受ける

●次回受診予定日

7 月 18 日

受診日 7 月 18 日

●決めたこと・確認したこと

・右肺に胸水あり
・病期は「IVA」

●次に行うこと

治療方針の確認
(息子も同伴)

●次回受診予定日

7 月 24 日

診断された日の日付と担当医師名を書いておきましょう

※通院回数や頻度、内容などは患者さんの状態によって異なります。医療者と相談・確認のうえ、ご自分の状況にあわせてご記入ください。

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

(次ページへ)

医療者からコメント



医療者に伝えたいこと、相談したいこと



ご家族から

(例:入院する期間はどのくらいか、セカンドオピニオンを受けたいと思っている など)

治療決定までの経過を、書き留めておきましょう

主治医と患者さんが決めたこと、確認したことを、診療や検査の流れにそって記入するページです。右上の記入例を参考に、確認したことを書き留めておきましょう。

受診日 ____ 月 ____ 日 ●決めたこと・確認したこと ●次に行うこと ●次回受診予定日 ____ 月 ____ 日	受診日 ____ 月 ____ 日 ●決めたこと・確認したこと ●次に行うこと ●次回受診予定日 ____ 月 ____ 日
--	--

医療者からコメント



医療者に伝えたいこと、相談したいこと



患者さんから

(例:治療効果はどうやって確認するのか、次に予定している治療法はあるか など)

記入例

主治医と決めたこと、確認したことを書いておきましょう

次に予定していることを書いておきましょう

受診日 7 月 24 日

●決めたこと・確認したこと

入院して
薬物治療を開始
(まずは1サイクル)

●次に行うこと

入院の準備
(治療同意書をもらう)

●次回受診予定日

7 月 31 日

受診日 7 月 31 日

●決めたこと・確認したこと

看護師さんより
入院に関する
説明を受ける

●次に行うこと

治療の進め方を紹介
した冊子を読んでおく

●次回受診予定日

8 月 4 日

※通院回数や頻度、内容などは患者さんの状態によって異なります。医療者と相談・確認のうえ、ご自分の状況にあわせてご記入ください。

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

受診日 ____ 月 ____ 日

●決めたこと・確認したこと

●次に行うこと

●次回受診予定日

____ 月 ____ 日

治療開始

医療者からコメント



医療者に伝えたいこと、相談したいこと



ご家族から

(例: サプリメントを続けてもよいのか、同病の患者さんと交流はできるか など)

診療フローチャート(決めたこと、確認したこと)

治療方針が決まったら、内容を記入しておきましょう

主治医に確認したうえで、当てはまるものに☑を入れ、空欄を記入してください。
わからない場合は、主治医や看護師などの医療者に記入してもらいましょう。

☐ 薬物療法

記入日 年 月 日



● 初回の治療(一次治療)で使うお薬

☐ 細胞障害性抗がん薬☐ 分子標的薬☐ 免疫チェックポイント阻害薬☐ その他 ()☐ 単剤療法☐ 併用療法

● 治療薬の名前

● 治療スケジュール

_____年 _____月 _____日から _____週間ごと _____サイクル実施予定

_____年 _____月 _____日から _____週間ごと _____サイクル実施予定

MEMO

☐ 放射線療法

記入日 年 月 日



● 放射線腫瘍医から説明された内容を書いておきましょう

照射部位： _____

回数：週に _____ 回 × _____ 週間

実施日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日

MEMO

☐ 手術

記入日 年 月 日



手術部位： _____

実施日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

MEMO

治療が始まる前の過ごし方

■人生に関わる大事な決断を急いで行わないようにしましょう。

がんと診断されたときは、大きなショックを覚えることでしょう。しかし、がんと診断されたからといって、これまでの仕事をすぐに手放したり、自ら生活のリズムを崩したりする必要はありません。治療と仕事、生活との両立について、医療者と相談しながら一緒に考えていきましょう。

治療が始まるまでに準備しておきたいこと

■体調を崩さないように注意しましょう

基本的に、診断されてから治療が始まるまでは、これまでどおりの生活を続けていただいてかまいません。ただし、風邪などをひくと、治療に影響を及ぼしかねないので、体調を整えておくようにしましょう。

また、ほかに病気がある方は、食事など生活面で注意すべきことがないか、事前に主治医や看護師に確認しておきましょう。

■利用できる助成制度などを確認しておきましょう

医療費や介護に関する助成制度などの情報を集めておくことも大切です。「医療相談室」など病院の窓口、または「がん相談支援センター」に相談すると、利用できる制度について一緒に考え、紹介してくれます。がん相談支援センターでは、電話での相談も受け付けています。

がん相談支援センターは、全国の「がん診療連携拠点病院」や「地域がん診療病院」に設置されています。

こちらから探すこともできます(病院一覧)

国立がん研究センター がん情報サービス
「がん診療連携拠点病院などを探す」

<https://hospdb.ganjoho.jp/kyoten/kyotensearch>



■たばこを吸っている人は禁煙しましょう

禁煙することで、痰の量が減る、治療後の肺炎のリスクを下げるなどの効果が期待できます。この機会にぜひ禁煙しましょう。

役立つ情報が得られるウェブサイトのご案内

■ 確かな情報は、がんと闘うための大きな力になります

確認したいことがあったら、下記のウェブサイトを参考にしてください。

(2023年4月現在)

がんに対する基本的・網羅的な情報を知りたいとき	国立がん研究センター 「がん情報サービス」 https://ganjoho.jp/public/index.html 
がんについて相談したい、相談できる窓口を探したいとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「がん相談支援センターとは」 https://ganjoho.jp/public/institution/consultation/cisc/cisc.html 
	日本対がん協会 「がん患者・家族の支援」 https://www.jcancer.jp/consultation_and_support 
肺がんの治療やケアに関する情報を知りたいとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「肺がん」 https://ganjoho.jp/public/cancer/lung/index.html 
	日本肺癌学会「一般の皆さまへ」 https://www.haigan.gr.jp/modules/ippan/index.php?content_id=21 
説明された医療用語がわからないとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「がんに関する用語集」 https://ganjoho.jp/public/qa_links/dictionary/dic01/index.html 
家族向けの情報を知りたいとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「ご家族、まわりの方へ」 https://ganjoho.jp/public/support/family/index.html 
他のがん患者さんやご家族の声を聞きたいとき	希望と共に生きる 「がんサバイバー・クラブ」 https://www.gsclub.jp/ 
治療と仕事の両立について知りたいとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「がんと仕事」 https://ganjoho.jp/public/institution/qa/index.html 
	厚生労働省 「治療と仕事の両立について」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html 
医療費の助成制度について知りたいとき	国立がん研究センター がん情報サービス 「がんとお金」 https://ganjoho.jp/public/institution/backup/index.html 

納得して治療を受けるためのヒント

- 聞き逃したこと、わからないことがあったら
そのままにしないで、主治医や看護師に確認しましょう。
- 治療を受けるにあたり、暮らしの中で
優先したいことややって欲しくないことがあれば、
主治医や看護師に伝えましょう。
(→11ページの記入欄に書き添えておきましょう)

ご家族の方に

患者さんご家族は、情報を共有し、
同じ目標に向かって治療を進めることが大切です。
患者さんの思いを尊重し、医療者ともよく相談しながら、
治療をサポートしていきましょう。

医療機関名

担当医師名

緊急連絡先
